



Bank of Japan Nagasaki Branch

## 長崎県の金融経済概況

(2022年6月公表分)

### 【概況】

長崎県の景気は、緩やかに持ち直している。

最終需要面をみると、個人消費は、飲食を中心に弱さが残るものの、持ち直しの動きが続いている。観光は持ち直している。住宅投資は横ばい圏内で推移している。公共投資は、このところ弱めの動きとなっているが、高水準で推移している。設備投資は、大型案件が寄与して増加している。

生産は緩やかな増加基調にある。雇用・所得環境をみると、労働需給は改善の動きに拡がりが見られる一方、雇用者所得は弱い動きが続いている。消費者物価指数は前年を上回った。

先行きについては、感染症の動向のほか、エネルギー価格・原材料コストの上昇、供給制約、ウクライナ情勢等が、企業収益や個人消費に及ぼす影響を注視していく必要がある。

#### 【本件に関する問い合わせ先】

日本銀行長崎支店総務課

850-8645 長崎市炉粕町32番地

TEL : 095-820-6110 FAX : 095-820-0299

本資料は当店ホームページ (<http://www3.boj.or.jp/nagasaki/>) にも掲載しています。



## 1. 需要項目別動向

個人消費は、飲食を中心に弱さが残るものの、持ち直しの動きが続いている。財消費は堅調に推移している。サービス消費は改善の動きが続いている。

4月の商業動態統計は、前年を上回った。5月の乗用車新車登録台数は、前年を下回った。

観光は、持ち直している。

4月の主要ホテル・旅館宿泊者数、主要観光施設入場者数は、前年を上回った。

住宅投資は、横ばい圏内で推移している。

4月の新設住宅着工戸数は、前年を下回った。

公共投資は、このところ弱めの動きとなっているが、高水準で推移している。

4月の公共工事請負金額は、前年を下回った。

設備投資は、大型案件が寄与して増加している。

2022年度の設備投資（2022年3月短観）は、前年度を上回る計画となっている。

4月の建築物着工床面積は、前年を上回った。

## 2. 生産

生産は、緩やかな増加基調にある。

主要業種別にみると、電子部品・デバイスは増加基調にある。機械・重電（原動機、大・中型モーター、冷熱機器）は、減少が続いている。造船は、横ばい圏内で推移している。

### 3. 雇用・所得

雇用・所得環境をみると、労働需給は改善の動きに広がりが見られる一方、雇用者所得は弱い動きが続いている。

4月の有効求人倍率は、1.19倍となった。3月の雇用者所得は、前年を下回った。

### 4. 物価

4月の消費者物価指数（生鮮食品を除く総合、長崎市）は、前年を上回った。

### 5. 金融

4月の総預金および貸出金は、いずれも前年を上回った。

### 6. 企業倒産

4月の県内企業倒産（負債総額10百万円以上）は、件数、負債総額ともに前年を上回った。

〈 景気判断の比較 〉

	前回 (2022年5月公表分)	今回 (2022年6月公表分)
景気全体 (引き上げ) (2か月連続)	感染症の影響による弱さが一部に残るものの、緩やかに持ち直している。	<u>緩やかに持ち直している。</u>
個人消費 (据え置き)	飲食を中心に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられている。	飲食を中心に弱さが残るものの、持ち直しの動きが <u>続いている。</u>
観光 (引き上げ) (3か月連続)	引き続き厳しい状況にあるものの、持ち直している。	<u>持ち直している。</u>
住宅投資 (据え置き)	横ばい圏内で推移している。	横ばい圏内で推移している。
公共投資 (引き下げ) (4年1か月ぶり)	高水準で推移している。	<u>このところ弱めの動きとなっているが、高水準で推移している。</u>
設備投資 (据え置き)	大型案件が寄与して増加している。	大型案件が寄与して増加している。
生産 (据え置き)	緩やかな増加基調にある。	緩やかな増加基調にある。
雇用・所得 (据え置き)	労働需給は改善の動きに拮抗がみられる一方、雇用者所得は弱い動きが続いている。	労働需給は改善の動きに拮抗がみられる一方、雇用者所得は弱い動きが続いている。

(注) 下線は、前回からの変更・追加。